

第3回ワークショップ討議内容

テーマ①：再配置シミュレーション（B地区）

公共サービスのあり方で検討した内容を踏まえ、実際の施設（B地区：真菅地区）を用いて再配置シミュレーションを行い、「公共サービスの配置や組み合わせ」について議論しました。

まとめ

主な意見

■地区の特性

- ・ 南北に長細い形をした地区なので、アクセスの平等性に配慮が必要だ
- ・ 住宅開発が進み、人口が増加していることを踏まえて施設の統廃合を考えるべき
- ・ 人口が増えたり、新たな道路が整備されていることを考えると、将来的な環境の変化に対応できるように計画する必要がある

■施設分類ごとの意見

【地区公民館】

- ・ 地区公民館の利用は多いが、駐車場が狭くアクセスも悪いので、近くにある真菅小学校と統合（複合）してはどうか

【体育館】

- ・ 利用者が多く、利益が上がっているのなら民間の手が挙がりやすいと思うので、民営化をしてはどうか
- ・ 民営化によって利用料金が上がったり、サービスが低下することがないようにする必要がある
- ・ 防災機能も持った施設なので民営化は難しいのではないか
- ・ 防災機能を維持し続けることが民営化の条件になる
- ・ 防災機能を維持するために、建物は市所有のまま賃貸してはどうか
- ・ 利用者対応、施設管理、サービスの質が低いと感じるので、民間事業者のノウハウを入れ、運営の質を向上させるのが良い

【小学校】【幼稚園】【放課後児童健全育成施設】

- ・新しい道ができると交通量が増え子どもたちの危険が増えるため、安全面を考えて1つにまとめる
- ・子どもの施設はまとめていくことで、預ける親にとって送迎などのメリットがあり、世代間交流も生まれるので良い
- ・人口が増えているということは子どもの数が増える可能性があるということなので、人口動向をよく見て、学校や放課後児童健全育成施設のスペースが足りなくなることがない様に慎重に統合（複合）を考えるべきだ
- ・小学校と放課後児童健全育成施設では運営方法が異なるので、別々のままが良い
- ・小学生と幼稚園児とは施設のしつらえが変わるので、統合（複合）の際に配慮すべき
- ・小学校・幼稚園・放課後児童健全育成施設を統合（複合）する際には、正門の位置などの見直しを行っていく必要がある
- ・保育園の需要があるため、幼稚園を「こども園」にすることも検討すべき
- ・小学校の空き教室を地域のコミュニティスペースやミニ図書館として活用してはどうか

【消防施設】

- ・地域活動の場としても、防災拠点としてもこのまま維持するのが良い

【公営住宅】

- ・住んでいる人がいるので、現状を見つつ建替えの時期に見直しを考える
- ・居住の選択肢が広がるので民営化を進めてはどうか
- ・民営化の際には、新しい住居を探すサービスや家賃補助などの現居住者への支援が必要だ
- ・北妙法寺団地は築年数も浅めで入居率も良く、スーパーも近くて便利なのでこのままで良い

【自転車駐車場】

- ・利用者が多く、利益が上がっているのなら民間の手が挙がりやすいと思うので、民営化をしてはどうか
- ・利用者が多いのでこのまま市が所有するのが良い
- ・民営化によって利用料金が上がったり、サービスが低下することがないようにする必要がある

■その他の意見

- ・新住民が増えてきているので住民が集まれる施設が必要だ
- ・高齢者が集まれる施設が必要だ
- ・コミュニティバスを通してアクセス性を向上させることが必要だ
- ・実際にこの地区で生活し、状況を理解している地区住民の意見を聞いて計画を進める必要がある

A グループの意見 (B 地区 : 真菅地区)

●意見まとめ

【削減ポイント】

23,150ポイント → 21,150ポイント (8.6%削減)

【廃止】

真菅地区公民館 → 真菅小学校へ複合

真菅北幼稚園

真菅北小学校区放課後児童健全育成施設

真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設

真菅北小学校へ複合

【民営化】

なし

【集約】

なし

【主な意見】

①地区公民館を小学校に複合

- ・真菅地区公民館を真菅小学校に複合
 - ⇒地区公民館の利用は多いが、アクセスが悪い上、駐車場が狭い
 - ⇒地区公民館の場所はわかりにくく、周辺の道幅も狭い
 - ⇒真菅小学校は真菅地区公民館から近く、車も停めやすい

②幼稚園・放課後児童健全育成施設を小学校に複合

- ・真菅北幼稚園と真菅北小学校区放課後児童健全育成施設、真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設を真菅北小学校に複合
 - ⇒子どもの施設はまとめたほうが使いやすい
 - ⇒新しい道ができると交通量が増え子どもたちの危険が増えるため、安全面を考えて1つにまとめる
 - ⇒年代の違う兄弟で子どもを預ける時も同じ場所だと便利
 - ⇒幼稚園を卒園すると先生等との交流が切れがちだが、同じ場所にあると交流を持つことができる
 - ⇒年代ごとに適応した施設(設備)を適切に配置する必要がある

③自転車駐車を民営化または存続（両方の意見があり結論に至っていない）

- ・ 真菅駅前自転車駐車を民営化または存続
 - ⇒料金が上がらないのであれば、民営化してもいいのではないか
 - ⇒民営化すると料金が上がるかもしれないので、需要もあるため今のままだでもいいのではないか

【その他意見】

- ・ 例えば、自治会の集まりに新住民にも参加してほしいと言っても断られてしまう等、コミュニケーション不足を感じるので、新住民が増えている地域には集まれる施設が必要だ
- ・ 人口が増えている地区であり、保育所等の需要もあるため、削減の方向ではなく充実させる必要もあるのではないか
- ・ 高齢者が集まれる場所も必要である
- ・ 真菅地区は公共交通（路線バス、コミュニティバス）がないので、コミュニティバスを通し、誰でも公共施設にいけるようにしてほしい
- ・ この地区の住民の意見を聞いて進めてほしい

●再配置シミュレーション (B地区：真菅地区) Aグループ

真菅地区公民館

建物	機能	
	地域活動の場の提供	生涯学習の場の提供
廃止	複合化（真菅小学校へ）	複合化（真菅小学校へ）

意見

- ・ 駐車が狭く、アクセスも悪い（コミュニティバスが通っていないため、車で行くしかない）
- ・ 真菅地区が広いのに、公民館の立地が悪い
- ・ 現在の公民館の駐車を拡張する土地がない
- ・ 公民館周辺の道が狭いので、改善してほしい
- ・ 真菅小学校が近くにあるので、小学校に複合すれば駐車が確保でき、アクセス・駐車場不足が改善される
- ・ 真菅小学校の場所であれば、近くに大きな道路もあるので、真菅地区北部の住民からもアクセスが改善される
- ・ 公民館活動は活発に活動されている
- ・ 真菅地区北部の人口が増えているので、地区公民館の機能を真菅小学校と真菅北小学校のどちらにも入れてはどうか

曾我川緑地体育館

建物	機能	
	屋内競技の場の提供	スポーツジムの提供
存続	存続	存続

真菅小学校・給食室（複合施設）

建物	機能		
	学校教育（小学校）	屋内競技の場の提供	給食の調理・提供
存続	存続	存続	存続

複合する施設

- ・ 真菅地区公民館の「地域活動の場の提供」機能を複合
- ・ 真菅地区公民館の「生涯学習の場の提供」機能を複合

真菅北小学校・給食室（複合施設）

建物	機能		
	学校教育（小学校）	屋内競技の場の提供	給食の調理・提供
存続	存続	存続	存続

複合する施設

- ・ 真菅北幼稚園の「幼稚園教育」機能を複合
- ・ 真菅北小学校区放課後児童健全育成施設の「児童の預かり（6～12歳）」機能を複合
- ・ 真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設の「児童の預かり（6～12歳）」機能を複合

意見

- ・ 新しい道が整備されると交通量が増え、子どもの行き来が危険になる

真菅幼稚園

建物	機能
	幼稚園教育
存続	存続

真菅北幼稚園・真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設（複合施設）

建物	機能	
	幼稚園教育	児童の預かり（6～12歳）
廃止	複合化（真菅北小学校へ）	複合化（真菅北小学校へ）

意見

- ・ 新しい道が整備されると交通量が増え、子どもの行き来が危険になる
- ・ 複合することで、小学生と幼稚園児を一箇所に預けることができ、利便性が高くなる。
- ・ 複合することで、世代間交流ができる
- ・ 複合する場合、未就学児向けの施設整備が必要となる
- ・ 学童（児童の預かり機能）をひとつにまとめてはどうか

真菅北小学校区放課後児童健全育成施設

建物	機能
	児童の預かり（6～12歳）
廃止	複合化（真菅北小学校へ）

意見

- ・ 新しい道が整備されると交通量が増え、子どもの行き来が危険になる
- ・ 学童（児童の預かり機能）をひとつにまとめてはどうか

真菅小学校区放課後児童健全育成施設

建物	機能
	児童の預かり（6～12歳）
存続	存続

第5分団消防車庫

建物	機能
	消防車の保管
存続	存続

北妙法寺団地

建物	機能
	住宅の提供
存続	存続

意見

- ・ 大和八木駅にも近いし、近くにスーパー等があるので便利

真菅駅前自転車駐車場

建物	機能
	駐輪場の提供
存続	存続
民営化	民営化

意見（両方の意見があり結論に至っていない）

- ・ 利用料が高くならなければ民営化もよい
- ・ シルバーの方の働く場にもなっており、収支の問題もないのであれば、このままでもよい

【その他意見】

- ・ 真菅地区は人口が増えている
- ・ 真菅地区の北西部は人口が多いが、コミュニティバスがなく、車がないと公共施設に行けないため、コミュニティバスを通してほしい
- ・ 地域住民の意見を聞いて整備してほしい
- ・ 公共施設が少ない
- ・ 災害が来た時の避難所としての収容可能人数が少ない
- ・ 高齢者が集まる場所を確保してほしい
- ・ 新しい住民が集まりやすい施設を整備してほしい
- ・ 人口が増えている地区なので、保育所の需要もあるのでは
- ・ 真菅小学校区は縦長の校区であり、校区割りの見直しも考えられる（例えば、南部を畝傍地区の方に）

B グループの意見（B 地区：真菅地区）

●意見まとめ

【削減ポイント】

23,150ポイント → 17,900ポイント（22.7%削減）

【廃止】

真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設 } 真菅北小学校へ複合
真菅北小学校区放課後児童健全育成施設 }

真菅小学校区放課後児童健全育成施設 → 真菅小学校へ複合

真菅幼稚園 → こども園化

真菅北幼稚園 → こども園化

【民営化】

曾我川緑地体育館

北妙法寺団地

真菅駅前自転車駐車場

【集約】

なし

【新規】

保育所機能（乳幼児の保育（0～5歳））と真菅幼稚園の「幼稚園教育」機能を複合
→ こども園を新設

保育所機能（乳幼児の保育（0～5歳））と真菅北幼稚園の「幼稚園教育」機能を複合
→ こども園を新設

【主な意見】

①こども園を新設

- ・新規の保育所機能（乳幼児の保育（0～5歳））と真菅幼稚園の「幼稚園教育」機能を複合
- ・新規の保育所機能（乳幼児の保育（0～5歳））と真菅北幼稚園の「幼稚園教育」機能を複合
⇒幼稚園と保育園を一体化させたこども園とし、サービスを充実させ集約していきたい

②自転車駐車を民営化

- ・ 真菅駅前自転車駐車を民営化
 - ⇒料金が上がるかもしれないが、サービスを良くして民営化
 - ⇒満員で使われているが、収支の面では赤字である

③公営住宅を民営化

- ・ 北妙法寺団地を民営化
 - ⇒築17年と比較的新しいため、今すぐではないが民営化
 - ⇒住む場所・タイプの選べる幅が広がる
 - ⇒民間の住宅に入りにくい方もいるため、家賃補助等の行政としてのサポートは必要

④体育館を民営化

- ・ 曾我川緑地体育館を民営化
 - ⇒多くの難しい条件はあるが民営化してはどうか
 - ⇒避難所機能や増水時に水を貯める機能が屋外にあるため、地域としては必要な施設である

●再配置シミュレーション (B地区:真菅地区)

Bグループ

真菅地区公民館

建物	機能	
	地域活動の場の提供	生涯学習の場の提供
存続	存続	存続

曾我川緑地体育館

建物	機能	
	屋内競技の場の提供	スポーツジムの提供
民営化	民営化	民営化

意見

- ・ ジムは人気がある
- ・ 赤字なら民間に売る
- ・ 利用料金が高い
- ・ 値段・サービス等の条件設定をしたうえで、民営化する必要がある
- ・ 避難所機能が民営化でなくなってしまうと困る
- ・ 有事の際に、災害対策に協力してくれる事業者を選ぶ必要がある
- ・ 雨水貯水池となっているため、水害を防ぐ役割を担っている
- ・ 周辺住民は曾我川緑地体育館以外の避難所が遠くにしかない
- ・ 特定の人が利用する施設では、利用料金が高いのも仕方がない。ただし、利用料金が高いのであれば、その分魅力のあるサービスを提供できるようにする
- ・ 民間に任せれば地域ごとに特色が出るのではないかと
- ・ 車がないと不便

真菅小学校・給食室（複合施設）

建物	機能		
	学校教育（小学校）	屋内競技の場の提供	給食の調理・提供
存続	存続	存続	存続

複合する施設

- ・ 真菅小学校区放課後児童健全育成施設の「児童の預かり（6～12歳）」機能を複合
- #### 意見
- ・ 新しい住居が建ちつつある
 - ・ 子どもが増えている
 - ・ 子育てサークルが増えている

真菅北小学校・給食室（複合施設）

建物	機能		
	学校教育（小学校）	屋内競技の場の提供	給食の調理・提供
存続	存続	存続	存続

複合する施設

- ・ 真菅北小学校区放課後児童健全育成施設の「児童の預かり（6～12歳）」機能を複合
 - ・ 真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設の「児童の預かり（6～12歳）」機能を複合
- #### 意見
- ・ 新しい住居が建ちつつある
 - ・ 子どもが増えている
 - ・ 子育てサークルが増えている

真菅幼稚園

建物	機能
	幼稚園教育
廃止	複合化（こども園（新設）へ）

意見

- ・ 幼稚園は人数が減っている

【新規】こども園（真菅）

建物	機能	
	幼稚園教育	乳幼児の保育（0～5歳）
新規	複合化	新設

複合する機能

- ・ 真菅幼稚園の「幼稚園教育」機能を複合

新設する機能

- ・ 保育所機能（乳幼児の保育（0～5歳））を新設

意見

- ・ 幼稚園より保育所の需要が高いから
- ・ 0歳～5歳まで連続してサービスを受けられる

真菅北幼稚園・真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設（複合施設）

建物	機能	
	幼稚園教育	児童の預かり（6～12歳）
廃止	複合化（こども園（新設）へ）	複合化（真菅北小学校へ）

意見

（幼稚園教育）

- ・ 真菅北幼稚園は人数が減っている

【新規】こども園（真菅北）

建物	機能	
	幼稚園教育	乳幼児の保育（0～5歳）
新規	複合化	新設

複合する機能

- ・ 真菅北幼稚園の「幼稚園教育」機能を複合

新設する機能

- ・ 保育所機能（乳幼児の保育（0～5歳））を新設

意見

- ・ 幼稚園より保育所の需要が高いから
- ・ 0歳～5歳まで連続してサービスを受けられる

真菅北小学校区放課後児童健全育成施設

建物	機能
	児童の預かり（6～12歳）
廃止	複合化（真菅北小学校へ）

真菅小学校区放課後児童健全育成施設

建物	機能
	児童の預かり（6～12歳）
廃止	複合化（真菅小学校へ）

第5分団消防車庫

建物	機能
	消防車の保管
存続	存続

北妙法寺団地

建物	機能
	住宅の提供
民営化	民営化

意見

- ・ 入居率が高い（収益がある）
- ・ 民間がやると住戸タイプなどの選べる幅が広がる
- ・ 民営化した場合、市による家賃補助の継続が必要
- ・ 民営化したら高齢者等が入りづらくなるのでは
- ・ 民営化したらサービス付高齢者住宅等に変更されてしまうのではないか
- ・ 築 17 年はまだ新しく感じるので、民営化するとしたら遠い将来でよい
- ・ 真菅駅からは徒歩圏内

真菅駅前自転車駐車場

建物	機能
	駐輪場の提供
民営化	民営化

意見

- ・ 赤字ならば民営化し、黒字ならば市が続けたらいいのではないか
- ・ ほぼ満車で使われている
- ・ 民間のノウハウでサービス向上（自転車屋に行かなくてもパンク修理ができるようなメンテナンス道具が常備される等）するのでは
- ・ 民間なら建物を活用してシェアサイクル等のサービスも可能。そうしたら、常に自転車の出入りがあり、大きな建物がいらぬ
- ・ 空き家を有効活用できるのではないか
- ・ 値段設定（月 2000 円を超えるのは高い）と駐車可能台数の確保が必要
- ・ 建物を活用して利益を上げられる事業者を探す必要がある
- ・ 民間売却後（3 年間）は、市が事業者にも補填してはどうか

【その他意見】

- ・ 京奈和を越えると遠いイメージ。地域が分断されている
- ・ 近隣の市町村に避難所があれば、その避難所を使えるような広域連携をしてもよいのでは

C グループの意見（B地区：真菅地区）

●意見まとめ

【削減ポイント】

23,150ポイント → 18,500ポイント（20.1%削減）

【廃止】

真菅北幼稚園
真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設 } 真菅北小学校へ複合

真菅小学校区放課後児童健全育成施設 → 真菅小学校へ複合

【民営化】

曾我川緑地体育館
真菅駅前自転車駐車場

【集約】

なし

【主な意見】

①体育館を民営化

- ・ 曾我川緑地体育館を民営化
 - ⇒体育館は既に指定管理であるため民営化でも問題はない
 - ⇒利用料が高くなるようにする
 - ⇒サービスが利用者にとってマイナスにならないようにする

②自転車駐車場を民営化

- ・ 真菅駅前自転車駐車場を民営化
 - ⇒自転車駐車場は利用率が高いので民営化することで民間企業にもメリットがあり、サービスの向上も期待できる
 - ⇒利用料が高くなるようにする
 - ⇒サービスが利用者にとってマイナスにならないようにする

③幼稚園・放課後児童健全育成施設を小学校に複合

- ・ 真菅北幼稚園・真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設を真菅北小学校に複合
 - ⇒現在も隣接しているため、同じ建物にしてもよい
 - ⇒周辺の交通量・道路整備の都合により、通学する児童にとって危険なため、安全性を確保できる環境を検討する必要がある

【その他意見】

- ・ 南北に長い地域の為、アクセスの不平等が起きないようにする（例えば、スクールバスを出すなど）
- ・ 幼稚園・小学校を統合（複合）した際、交通量が多く危険な場所があるため、どのように安全性を確保していくのか検討する必要がある
- ・ 今後、道路拡張の予定があるため、それを見据えた上での公共施設の再配置の検討が必要
- ・ 子どもや利用者が安全にアクセスできるよう検討する必要がある

●再配置シミュレーション（B地区：真菅地区）

Cグループ

真菅地区公民館

建物	機能	
	地域活動の場の提供	生涯学習の場の提供
存続	存続	存続

意見

- ・ 周辺住民しか利用していない
- ・ 真菅地区の中心部にあるが、この地区は南北に長い為、南部、北部の人にとってはアクセスが悪く、遠い人には不便

曾我川緑地体育館

建物	機能	
	屋内競技の場の提供	スポーツジムの提供
民営化	民営化	民営化

意見

- ・ 既に指定管理を受けて民間の会社が運営をしているので、民営化しても問題はない
- ・ 民営化したほうが、企業が自由にメニューを考えられる
- ・ 民営化して、民間会社に利益が生まれるのは良いと思う

真菅小学校・給食室（複合施設）

建物	機能		
	学校教育（小学校）	屋内競技の場の提供	給食の調理・提供
存続	存続	存続	存続

複合する施設

- ・ 真菅小学校区放課後児童健全育成施設の「児童の預かり（6～12歳）」機能を複合

意見

- ・ 大谷・寺田・慈明寺町から小学生が学校に通うのは、五井町交差点と、五井町交差点の南部にある四差路などを渡るので危なく、遠いので大変でかわいそう
- ・ 大谷・寺田・慈明寺町から通学するのは、危険なのでスクールバスを走らせてはどうか
- ・ 医大ができて幅12mの道がR24の南側にできる。（運動公園から医大へ抜ける）大谷町の子どもは益々通学が危なくなるのではないかと
- ・ 幼稚園、学童、小学校は1つの敷地にあったほうが安全だと思う。複合化する際に、安全面を考慮した配置（正門や子どもの通学路の確保）にするのが良い
- ・ 学校の西側の道幅が狭い。通り抜けする車が多く、速度が速くて危ないので、道を広くしないといけない
- ・ 南部地域の空いている公共施設を有効活用して小学校の分校をつくってあげたい

真菅北小学校・給食室（複合施設）

建物	機能		
	学校教育（小学校）	屋内競技の場の提供	給食の調理・提供
存続	存続	存続	存続

複合する施設

- ・ 真菅北幼稚園の「幼稚園教育」機能を複合
- ・ 真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設の「児童の預かり（6～12歳）」機能を複合

意見

- ・ 児童数が多いので、むやみに空き教室を減らせない
- ・ 幼稚園と小学校は隣接している
- ・ 京奈和自動車道を降りたところに新しい道ができるが、榎原北小学校の運動場を通るため、運動場が5mくらい狭くなる（4年後）
- ・ バイパスができたとき、学校の正門等をどうするのか。住民の意見を聞いてあげてほしい
- ・ 幼稚園を複合する際には、道路の整備など安全確保が必要

真菅幼稚園

建物	機能
	幼稚園教育
存続	存続

意見

- ・ 運動場が狭い
- ・ 正門前の道路が狭い。また、通り抜けする車が多く危険なため、送り迎えが大変

真菅北幼稚園・真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設（複合施設）

建物	機能	
	幼稚園教育	児童の預かり（6～12歳）
廃止	複合化（真菅北小学校へ）	複合化（真菅北小学校へ）

意見

- ・ 幼稚園と小学校は隣接している

真菅北小学校区放課後児童健全育成施設

建物	機能
	児童の預かり（6～12歳）
存続	存続

意見

- ・ 子どもが多いので、学童を残しておいたほうがいい

真菅小学校区放課後児童健全育成施設

建物	機能
	児童の預かり（6～12歳）
廃止	複合化（真菅小学校へ）

第5分団消防車庫

建物	機能
	消防車の保管
存続	存続

意見

- ・ 周辺に家屋があり、安全面を考えると、消防団車庫は現在の位置がいい
- ・ 真菅北小学校の方へ移動したら、樫原消防北出張所があるので、現在の位置がいい

北妙法寺団地

建物	機能
	住宅の提供
存続	存続

真菅駅前自転車駐車場

建物	機能
	駐輪場の提供
民営化	民営化

意見

- ・ 利益が出るなら民営化でもよいと思う（民間企業が手をあげることで、より利益が出ると思う）
- ・ 民営化されることで、よりよいサービスを受けられると思うから
- ・ 民営化するならばコスト（料金）は下げてあげないといけない
- ・ 民間になって料金UPは困る。ポイントが付く等の工夫がされるとよい
- ・ 自転車置き場は駅前で儲かっているので、公共のままで良いと思う
- ・ 真菅駅の南側にも民営駐車場と、村営駐輪場がある
- ・ 村営の駐輪場は村人のみが利用できるらしいが、もしそうなら不公平ではないのか

【その他意見】

◆全体

- ・ 全体に南北に長いので、両側からはアクセスが悪い
- ・ 近い将来（4～5年後）の環境の変化（道路が拡張される、整備されるなど）を踏まえた話し合いをするべき
- ・ スクールバスを導入するなら、どの地域に住んでいる子どもにも平等に提供できるような工夫が必要

◆南部

- ・ 南部の地域が便利になれば転入者も増えるのではないか
- ・ 西池尻は電車で畝傍南小学校に通えているので、大谷町よりまだマシだと思う

◆北部

- ・ 櫃原北 IC 付近は調整地区なので田んぼを残すべき。大雨などが降った時の水を受け止める役目を果たしている
- ・ 北部に住んでいる人は、学校へのアクセスがよい

D グループの意見（B地区：真菅地区）

●意見まとめ

【削減ポイント】

23, 150ポイント → 23, 150ポイント（0%削減）

【廃止】

なし

【民営化】

なし

【集約】

なし

【新規】

一部公民館機能（地域コミュニティの場の提供）	}	真菅小学校へ複合
図書館機能（図書の貸し出し）		
一部公民館機能（地域コミュニティの場の提供）	}	真菅北小学校へ複合
図書館機能（図書の貸し出し）		

【主な意見】

①放課後児童健全育成施設を小学校に統合（複合）または存続

（両方の意見があり結論に至っていない）

- ・真菅小学校区放課後児童健全育成施設を真菅小学校に統合（複合）または存続
- ・真菅北小学校区放課後児童健全育成施設を真菅北小学校に統合（複合）または存続
- ・真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設を真菅北小学校に統合（複合）または存続
⇒住宅の数、人口（子どもの数）が増加する見込みであるため現状維持すべき
⇒現在の放課後児童健全育成施設の面積が大きくないため、今は現状を維持し、子どもの人口が増加した際に柔軟に対応してはどうか

②一部公民館機能と図書館機能を小学校に複合

- ・一部公民館機能（地域コミュニティの場の提供）と図書館機能（図書の貸し出し）を新設し、真菅小学校に複合
- ・一部公民館機能（地域コミュニティの場の提供）と図書館機能（図書の貸し出し）を新設し、真菅北小学校に複合
⇒小学校の空き教室が大きいと想定されることから、統合・複合して空き教室を活用すべき。例えば、コミュニティスペースなど多世代交流ができるような場づくり

③自転車駐車を存続

- ・真菅駅前自転車駐車を存続
⇒駅前のため利用者が多く、全体的に施設も少ないためこのままでいい

④体育館を民間業者に賃貸

- ・曾我川緑地体育館を民間業者に賃貸
⇒運営管理のノウハウを民間から学び活用する
⇒防災施設の機能が含まれている為、全てを民営化にはできない
⇒建物は市が所有し、賃貸にしてはどうか

⑤消防施設を存続

- ・第5消防分団消防車庫を存続
⇒地域の活動の場・拠点になるため

●再配置シミュレーション (B地区：真菅地区)

Dグループ

真菅地区公民館

建物	機能	
	地域活動の場の提供	生涯学習の場の提供
存続	存続	存続

意見

- ・うまく活用されている

曾我川緑地体育館

建物	機能	
	屋内競技の場の提供	スポーツジムの提供
存続	存続	存続

意見

- ・現在の施設はサービスの質が低いと感じる。防災機能もあるので、建物は市が所有したまま、運営形態を指定管理から民間への賃貸に変更し、運営管理の質を向上させる
- ・民間の運営ノウハウを導入することで、利用者対応や施設管理、サービスの向上が見込まれる
- ・賃貸することで、市への歳入も確保できる
- ・駐車場が広いので、車で行きやすい。また、駅から歩いて行けない距離でもないので、アクセスは悪くない

真菅小学校・給食室（複合施設）

建物	機能		
	学校教育（小学校）	屋内競技の場の提供	給食の調理・提供
存続	存続	存続	存続

複合する施設

- ・ 真菅小学校区放課後児童健全育成施設の「児童の預かり（6～12歳）」機能を複合（※放課後児童健全育成施設を存続する意見もあり）

新設する機能

- ・ 一部公民館機能（地域コミュニティの場の提供）を複合
- ・ 図書館機能（図書の貸し出し）を複合

意見

- ・ 児童数が少ない学校であれば統合も考えられるが、むやみに減らしてしまうと、今後、人口が増加したときに不足してしまうため、残しておく
- ・ 現時点で学童の空きが少ないので、児童が増えたときに対応できるよう学校の空き教室を放課後児童健全育成施設として活用する
- ・ 空き教室が多い場合、人口動向を見ながら、地域のために有効活用できるような使い方を柔軟に考える
- ・ 地域コミュニティを促進し、多世代交流ができれば、普段から顔見知りになり、災害時にも役立つ
- ・ 今ある図書館機能をより充実させる

真菅北小学校・給食室（複合施設）

建物	機能		
	学校教育（小学校）	屋内競技の場の提供	給食の調理・提供
存続	存続	存続	存続

複合する施設

- ・ 真菅北小学校区放課後児童健全育成施設の「児童の預かり（6～12歳）」機能を複合
- ・ 真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設の「児童の預かり（6～12歳）」機能を複合（※放課後児童健全育成施設を存続する意見もあり）

新設する機能

- ・ 一部公民館機能（地域コミュニティの場の提供）を複合
- ・ 図書館機能（図書の貸し出し）を複合

意見

- ・ 児童数が少ない学校であれば統合も考えられるが、むやみに減らしてしまうと、今後、人口が増加したときに不足してしまうため、残しておく
- ・ 現時点で学童の空きが少ないので、児童が増えたときに対応できるよう学校の空き教室を放課後児童健全育成施設として活用する
- ・ 空き教室が多い場合、人口動向を見ながら、地域のために有効活用できるような使い方を柔軟に考える
- ・ 地域コミュニティを促進し、多世代交流ができれば、普段から顔見知りになり、災害時にも役立つ
- ・ 今ある図書館機能をより充実させる
- ・

真菅幼稚園

建物	機能
	幼稚園教育
存続	存続

真菅北幼稚園・真菅北小学校区第2放課後児童健全育成施設（複合施設）

建物	機能	
	幼稚園教育	児童の預かり（6～12歳）
存続	存続	存続
存続	存続	複合化（真菅北小学校へ）

意見（両方の意見があり結論に至っていない）

（児童の預かり）

- ・ 真菅地区は人口増加している地区なので、児童生徒が増えることを考えて、現在の施設を使いつつ、空きがなくなったら小学校の空き教室も活用していく
- ・ 学童はそれぞれ小さい施設なので、わざわざ減らす必要もないのでは
- ・ 現時点で学童の空きが少ないので、児童が増えたときに対応できるよう学校の空き教室を放課後児童健全育成施設として活用する
- ・ 児童が増えた時に、複数箇所になると思われるので、現時点で小学校に入れてはどうか

真菅北小学校区放課後児童健全育成施設

建物	機能
	児童の預かり（6～12歳）
存続	存続
廃止	複合化（真菅北小学校へ）

意見（両方の意見があり結論に至っていない）

- ・ 真菅地区は人口増加している地区なので、児童生徒が増えることを考えて、現在の施設を使いつつ、空きがなくなったら小学校の空き教室も活用していく
- ・ 学童はそれぞれ小さい施設なので、わざわざ減らす必要もないのでは
- ・ 現時点で学童の空きが少ないので、児童が増えたときに対応できるよう学校の空き教室を放課後児童健全育成施設として活用する
- ・ 児童が増えた時に、複数箇所になると思われるので、現時点で小学校に入れてはどうか

真菅小学校区放課後児童健全育成施設

建物	機能
	児童の預かり（6～12歳）
存続	存続
廃止	複合化（真菅小学校へ）

意見（両方の意見があり結論に至っていない）

- ・ 真菅地区は人口増加している地区なので、児童生徒が増えることを考えて、現在の施設を使いつつ、空きがなくなったら小学校の空き教室も活用していく
- ・ 学童はそれぞれ小さい施設なので、わざわざ減らす必要もないのでは
- ・ 現時点で学童の空きが少ないので、児童が増えたときに対応できるよう学校の空き教室を放課後児童健全育成施設として活用する
- ・ 児童が増えた時に、複数箇所になると思われるので、現時点で小学校に入れてはどうか

第5分団消防車庫

建物	機能
	消防車の保管
存続	存続

意見

- ・ 火災時に、迅速な消防活動ができるよう、今の場所に置いておく方がよい

北妙法寺団地

建物	機能
	住宅の提供
存続	存続

意見

- ・ 築年数もまだ浅めで入居率もよい。スーパーにも近く便利なので、このままでよい

真菅駅前自転車駐車場

建物	機能
	駐輪場の提供
存続	存続

意見

- ・ 駅前で利便性がよく、利用者も多いのでこのままの方がよい